

独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター

病院名・診療科名・研修プログラム名

独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター・内科・内科後期研修プログラム

住所・ホームページアドレス・連絡先メールアドレス

住所：栃木県宇都宮市中戸祭1丁目10番37号

ホームページ：http://www.tochigi-mc.jp/recruit/doctor_naika_kouki.html

連絡先：mkobayashi@tochi.hosp.go.jp

指導医名・記載者名

内科部長：上原慶太

プログラムディレクター：矢吹拓

記載者：小澤芳

研修プログラムの目標としている医師像

①ジェネラリスト・スペシャリストが一体となった内科診療

総合医・各専門医は内科医としての共通基盤を重視し、常に診療、カンファレンス、勉強会等を合同して行っております。それぞれの専門性を共有しながらも、最新の内科診療を目指し切磋琢磨しています。

②病歴・身体所見・診断プロセスを重視した内科医

入院・外来症例のカンファレンスを通して経験を共有し、病歴・身体所見を重視した臨床推論を学べます。また、診断プロセスの振り返りも定期的に行い、その共有・向上にも力を入れています。

③多彩な診療の場で活躍できるジェネラリスト

病棟入院診療だけでなく、初診・再診・救急外来・訪問診療などの多彩な診療場面の経験を通して、どんな地域でも通用するジェネラルな内科医を育てます。また、検査・手技なども各専門医に指導を受けながらスキルアップできます。

スタッフ人数

平成30年度：常勤医15人（男性13人、女性2人）

総合内科：8人、消化器内科：3人、循環器内科：4人

レジデント人数

平成30年度：男性6人、女性2人

当直

当直：月に2-3回程度

主に内科二次救急が中心、基本的には指導医と2人体制の当直となります。

当直明けの帰宅は現在調整中です。

診療科独自の病床数

年間平均約75床が内科すべての入院ベッドとして稼働していますが、多い時期は110床程度まで稼働します。

勉強会やカンファレンスの開催曜日・時間とその概要

当院では、特にカンファレンスや勉強会を重視しており、日々多彩な切り口で多くの学びの機会を提供しています。実際の症例を通じた学びだけでなく、知識や最新のエビデンスが、参加するだけで自然に学ぶことができます。

・内科合同入院症例カンファレンス（週2回）

担当症例の病態や診断過程の理解を深め、多面的な見方や最新の情報を得ます。また、プレゼンターとして情報検索およびコミュニケーション能力を高めます。

・他診療科・多職種カンファレンス

内科・外科合同カンファレンスが月2回、脳外科・内科脳卒中カンファレンスが月1回、病棟多職種カンファレンスが週1回あり、定期的に院内の他診療科・多職種との連携の場があり、チーム医療の実践を実感することが可能です。

・外来カンファレンス（毎日）

研修期間を通じて、総合内科外来初診と再診を週1回ずつ継続し外来診療経験を積んでいきます。初診・再診での担当患者は必ずスタッフ医師にフィードバックを受ける外来カンファレンスを開催し、自身のアプローチ方法の確認や修正を通して、外来診療の基本を学んでいきます。

・最新論文抄読会（週1回）

毎週内科医が各自読んだ論文を共有し、概要を紹介し合う抄読会を開催しています。主にBMJ/JAMA/Lancet/NEJMなどの主要医学雑誌から論文を選定しています。指導医が提示するだけでなく、専攻医も積極的に参加することで、最新の知識を得ることのみならず、医学論文の読み方や基本的な批判的吟味などを学ぶことができます。

・MKSAP勉強会（週1回）

MKSAP (Medical Knowledge Self-Assessment Program) はアメリカ内科学会 (ACP : American College of Physician) が出版している質の高い問題集で、参加者が問題に解答し解説を読む形式で毎週学習していきます。

・ **主要疾患臨床講義 (週1回)**

内科として遭遇する頻度が高い一般的な疾患や病態について、全体像やエビデンスをまとめて紹介する臨床講義を指導医が開催しています。日々のカンファレンスや指導では十分学びきれない疾患の全体像を把握することができ、診療の均質化にも繋がります。年に1回程度は専攻医自身も勉強会の講師を務め、情報をまとめ分かりやすく伝達する能力を学習します。

✳過去の主な講義テーマ (抜粋)

急性心不全症候群	糖尿病	敗血症	脳卒中
肺炎	緩和ケア	NSTEACSの初期対応	CLABSI
尿路感染症	COPD	慢性胃炎	妊娠糖尿病
PAD	肝硬変	ARDS	統計学
術前コンサルト	BLS	高脂血症	慢性肝炎(B型、C型)
EBM	内科トリアージ	入院患者の血栓予防	骨粗鬆症
がん検診	慢性虚血性心疾患	気管支喘息	痙攣患者の対応
高尿酸血症・痛風	人工呼吸器	頭痛	高齢者医療
内視鏡治療	Overdiagnosis & Choosing wisely	アルコール性離脱症候群	ICUから始める早期離床
不眠症	便秘	膵IPMN	ポリファーマシー
臨床推論	脳波	肺の聴診	行動変容

・ **臨床推論症例カンファレンス (週1回)**

経験症例やNEJMのClinical Problem Solving症例を題材に、病歴・身体所見を提示し鑑別診断を挙げ思考過程を共有することを重視したカンファレンス。ホワイトボードを用いて、思考の見える科を目指している。毎回、他病院の研修医も早朝ながら講義に参加しています。

・ **Clinical Questionカンファレンス (週1回)**

週1回経験した症例を題材に、その症例から参加者がClinical questionをたて、その疑問について定式化し、可能な限り調べてみるという、臨床疑問を解決しようというカンファレンスを行っています。医師にとってとても重要な日常診療から疑問を持つことができ、その疑問の解決方法の標準化を目指して開催しています。

・ **後期研修医振り返り (月1回)**

1ヶ月に1度、施設を越えて研修連携機関の研修医・指導医が集まり、一ヶ月間の出来事、課題、Next stepなどを共有します。後期研修医のみならず、スタッフ医師の振り返りも聞くことができることは有意義です。

・ **デスカンファレンス (月1回)**

死亡症例について臨床倫理の4分割法を用いながら、医学的適応のみならず、患者意向やQOL、周囲の状況について多職種で振り返る地域参加型多職種カンファレンスです。地域の医療職・介護職が集まり、普段の医師主導のカンファレンスでは気付きにく

い患者の視点に気付くことが多くあります。専攻医は司会を担当し、ファシリテーション能力を学ぶことができます。

- ・ウェブカンファレンス（月1回）

東京・埼玉・神奈川の病院・大学病院間でのwebカンファレンスを定期的で開催しています。お互いに1例症例を持ち寄り、ミニレクチャーを交えて情報交換・交流を行っています。

- ・栃木GIMカンファレンス（年3回）

栃木県内の総合内科・総合診療系医師の症例検討カンファレンス。獨協医大、自治医大、済生会宇都宮病院、栃木医療センターなど合同で定期的カンファレンスを開催し、施設間での学びを深めています。

- ・ポートフォリオ発表会（年4回）

家庭医療・総合診療の集まりとして、プライマリケア連合学会の家庭医療後期研修プログラム同士が連携して、定期的なポートフォリオ発表会を開催している。

- ・多彩な外部講師による勉強会（月1回もしくは隔月）

臨床推論・症例検討のカリスマ、マツケン先生こと松本謙太郎先生が月1回ティーチングで来て下さり、一日どっぴりマツケン節を堪能できます。上都賀総合病院膠原病内科の花岡亮輔先生も膠原病疾患の症例相談・レクチャーで月1回いらしています。

2018年度からは、薬剤師の地域医療日誌というブログで高名な薬剤師青島周一先生が毎月EBMの手法を、論文を通して教えに来てくれています。また、隔月で奄美のフィジカルクラブ総裁平島修先生が「栃木フィジカルクラブ」として、パッションを伝えに来てくれています。

それ以外にも、日常的に多くの学びの場が用意されています。

具体的な研修内容紹介

- ・外来

内科初診外来、内科再診外来（週1コマずつ）初診5-15症例程度、再診10-20症例/回程度です。

- ・入院

入院症例の管理を行います。基本的に外来や救急・当直から自分で入院とした患者さんの入院管理が中心です。通常10-20症例程度になります。

- ・救急

2次救急当番（週2コマ）

- ・検査・手技（適宜希望に合わせて学ぶことが可能。）

内視鏡検査（上部・下部）、超音波検査（腹部、心臓、頸部、四肢等）、グラム染色、各種穿刺（胸水・腹水・髄液・心嚢液・関節・骨髄等）、各種生検（肝腎、骨髄等）、

中心静脈カテーテル、胃瘻造設、ERCP、NPPV、心臓カテーテル検査、経皮的冠動脈形成術、ペースメーカー留置術、人口呼吸管理。

その他・自由記載

みなさんの見学をお待ちしております。お気軽にお問い合わせください。研修の詳細につきましてはホームページをご参照ください。

また勉強会やカンファレンスの記録をブログにしております。ぜひご覧ください。

<http://tyabu7973.hatenablog.com>

宇都宮で皆様をお待ちしております！